

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年10月31日

**【四半期会計期間】** 第41期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

**【会社名】** 株式会社アドヴァン

**【英訳名】** ADVAN CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 山形 雅之助

**【本店の所在の場所】** 東京都渋谷区神宮前4丁目32番14号

**【電話番号】** 03(3475)0295

**【事務連絡者氏名】** 経理部 古賀 正行

**【最寄りの連絡場所】** 東京都渋谷区神宮前4丁目32番14号

**【電話番号】** 03(3475)0295

**【事務連絡者氏名】** 経理部 古賀 正行

**【縦覧に供する場所】** 株式会社アドヴァン大阪支店  
(大阪市中央区本町3丁目3番12号)  
株式会社アドヴァン名古屋支店  
(名古屋市中区東桜2丁目22番18号)  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次		第40期 第2四半期連結 累計期間	第41期 第2四半期連結 累計期間	第40期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	7,289,056	8,046,707	15,413,610
経常利益	(千円)	1,591,574	1,840,521	4,611,734
四半期(当期)純利益	(千円)	975,901	1,248,520	2,714,908
四半期包括利益又は包 括利益	(千円)	502,854	1,615,605	3,898,818
純資産額	(千円)	20,747,739	24,948,439	24,043,603
総資産額	(千円)	31,144,191	35,137,780	37,129,824
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	47.55	61.48	132.89
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	66.6	71.0	64.8
営業活動によるキャッ シュ・フロー	(千円)	834,862	761,587	2,689,343
投資活動によるキャッ シュ・フロー	(千円)	196,792	2,896,308	205,396
財務活動によるキャッ シュ・フロー	(千円)	1,212,217	3,336,332	364,949
現金及び現金同等物の 四半期(当期)末残高	(千円)	1,105,277	4,584,257	4,265,712

回次		第40期 第2四半期 連結会計期間	第41期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	29.24	32.78

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
- 2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。
- 3 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結会計期間における我が国経済は、政府の経済・金融政策などを背景に、円安・株高が進み輸出企業を中心に企業業績の改善が見られる一方、原油高や欧米諸国における財政問題等の景気下振れリスクも存在し、本格的な景気回復には時間を要するものと思われま。しかしながら、景気回復への期待感から、消費動向や建築着工動向には徐々に力強さが見られるようになりました。

このようななか、当社グループは、事業環境の好転を背景に、積極的な販売促進策を実施し、売上伸張に注力するとともに、ショールーム施設への投資など、引き続き積極的な事業活動を展開してきました。

また、利益面ではショールームやテレビCMなどへの投資もあり、販売管理費は増加しておりますが年間見込みの範囲であり、今後更に売上伸張と効率経営に努め、収益向上を図ってまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は8,046百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益は1,859百万円（同8.1%増）となりました。また、経常利益はデリバティブ評価損103百万円の計上もあり、1,840百万円（同15.6%増）、四半期純利益は1,248百万円（同27.9%増）となりました。

#### (2) 資産負債の増減

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は前連結会計年度末に比べ1,992百万円減の35,137百万円となり、また、負債総額は社債の償還などにより、前連結会計年度末に比べ2,896百万円減の10,189百万円となりました。純資産はその他の包括利益累計額の増加もあり、前連結会計年度末に比べ904百万円増の24,948百万円となり、この結果、自己資本比率は71.0%となりました。

#### (3) キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ318百万円増の4,584百万円となりました。なお、当四半期連結会計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

##### （営業活動におけるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益は2,087百万円となりましたが、法人税等の支払いなどにより、営業活動により得られた資金は761百万円（前年同四半期は834百万円の収入）となりました。

##### （投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は2,896百万円（前年同四半期は196百万円の支出）となりました。その主な内訳は、有形固定資産の取得による支出が805百万円ありますが、定期預金の払戻しによる収入が3,200百万円あります。

##### （財務活動におけるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は3,336百万円（前年同四半期は1,212百万円の支出）となりました。その主な内訳は、長期借入金の返済が556百万円、配当金の支払が708百万円、また、社債の償還による支出が4,050百万円あります。なお、このほか借入による資金調達も2,000百万円あります。

#### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

特記事項はありません。

(6) 株式会社の支配に関する基本方針について

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	81,000,000
計	81,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年10月31日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	26,906,346	26,906,346	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数100株
計	26,906,346	26,906,346		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		26,906,346		12,500,000		2,230,972

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社不二総業	東京都渋谷区神宮前4丁目32番14号	8,273	30.75
藪田 雅子	東京都荒川区	802	2.98
山形 雅之助	東京都荒川区	753	2.80
山形 吉之助	東京都渋谷区	728	2.70
有限会社山形兄弟	東京都渋谷区神宮前4丁目32番14号	483	1.79
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口4)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	462	1.71
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	434	1.61
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	421	1.56
山形 和子	東京都荒川区	363	1.35
山形 雅二	東京都渋谷区	362	1.34
計		13,084	48.63

- (注) 1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)、及び日本マスタートラスト信託銀行株式会社は、全て信託業務に係るものであります。なおその内訳は、投資信託365千株、年金信託172千株、その他信託779千株となっております。
- 2 上記の他、自己株式が6,598千株(24.52%)あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式6,598,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式20,295,900	202,959	
単元未満株式	普通株式11,846		
発行済株式総数	26,906,346		
総株主の議決権		202,959	

(注) 「完全議決権株式(その他)」には、証券保管振替機構名義の株式が6,440株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数64個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社アドヴァン	東京都渋谷区神宮前4丁目 32番14号	6,598,600		6,598,600	24.52
計		6,598,600		6,598,600	24.52

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
常勤監査役		宇野 孝正	平成25年6月29日

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人A & Aパートナーズにより四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,458,096	4,675,057
受取手形及び売掛金	4,224,481	3,546,990
商品	2,425,974	3,114,371
仕掛品	3,892	7,378
その他	1,084,666	1,449,492
貸倒引当金	17,125	10,550
流動資産合計	15,179,984	12,782,739
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,064,826	5,948,978
土地	11,686,575	11,927,861
その他(純額)	552,968	650,384
有形固定資産合計	18,304,369	18,527,224
無形固定資産	75,395	367,714
投資その他の資産		
投資有価証券	958,399	493,589
為替予約	2,188,716	2,525,278
その他	399,187	421,793
投資その他の資産合計	3,546,303	3,440,661
固定資産合計	21,926,068	22,335,600
繰延資産		
社債発行費	23,770	19,441
繰延資産合計	23,770	19,441
資産合計	37,129,824	35,137,780
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	678,882	434,538
短期借入金	1,031,014	2,202,613
1年内償還予定の社債	4,100,000	100,000
未払法人税等	1,198,662	885,669
賞与引当金	72,568	91,550
役員賞与引当金	2,273	-
その他	915,949	1,090,164
流動負債合計	7,999,350	4,804,535
固定負債		
社債	1,500,000	1,450,000
長期借入金	2,786,707	3,036,927
役員退職慰労引当金	33,941	33,941
その他	766,221	863,937
固定負債合計	5,086,869	5,384,805
負債合計	13,086,220	10,189,341

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,500,000	12,500,000
資本剰余金	2,230,972	2,230,972
利益剰余金	13,423,622	13,961,373
自己株式	5,518,006	5,518,006
株主資本合計	22,636,588	23,174,340
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,053	11,804
繰延ヘッジ損益	1,347,961	1,785,903
その他の包括利益累計額合計	1,407,014	1,774,099
純資産合計	24,043,603	24,948,439
負債純資産合計	37,129,824	35,137,780

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	7,289,056	8,046,707
売上原価	3,736,865	4,038,480
売上総利益	3,552,191	4,008,227
販売費及び一般管理費	1,832,126	2,148,814
営業利益	1,720,064	1,859,413
営業外収益		
受取配当金	16,734	9,805
売電収入	-	56,343
その他	99,374	127,319
営業外収益合計	116,108	193,468
営業外費用		
支払利息	62,980	54,094
デリバティブ評価損	173,288	103,533
その他	8,328	54,731
営業外費用合計	244,598	212,360
経常利益	1,591,574	1,840,521
特別利益		
固定資産売却益	-	1,321
投資有価証券売却益	10,799	285,704
特別利益合計	10,799	287,025
特別損失		
固定資産処分損	448	36,143
投資有価証券売却損	-	1,485
その他	-	2,000
特別損失合計	448	39,629
税金等調整前四半期純利益	1,601,925	2,087,918
法人税、住民税及び事業税	600,667	844,852
法人税等調整額	25,356	5,455
法人税等合計	626,023	839,397
少数株主損益調整前四半期純利益	975,901	1,248,520
少数株主利益	-	-
四半期純利益	975,901	1,248,520

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	975,901	1,248,520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	125,377	70,857
繰延ヘッジ損益	347,669	437,942
その他の包括利益合計	473,047	367,084
四半期包括利益	502,854	1,615,605
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	502,854	1,615,605
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,601,925	2,087,918
減価償却費	254,780	281,787
賞与引当金の増減額(は減少)	28,553	18,982
役員賞与引当金の増減額(は減少)	920	2,273
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,784	6,575
受取利息及び受取配当金	22,910	14,443
支払利息	62,980	54,094
自己株式取得費用	782	-
社債発行費償却	4,329	4,329
為替差損益(は益)	3,491	3,488
デリバティブ評価損益(は益)	173,288	103,533
固定資産売却損益(は益)	-	1,321
固定資産処分損益(は益)	448	36,143
投資有価証券売却損益(は益)	10,799	284,219
売上債権の増減額(は増加)	179,155	677,491
たな卸資産の増減額(は増加)	456,894	704,029
仕入債務の増減額(は減少)	3,787	361,027
その他	14,052	29,240
小計	1,747,057	1,864,640
利息及び配当金の受取額	23,013	16,205
利息の支払額	63,197	63,134
法人税等の支払額	872,010	1,159,841
法人税等の還付額	-	103,718
営業活動によるキャッシュ・フロー	834,862	761,587
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	2,749,946	98,886
定期預金の払戻による収入	3,100,000	3,200,000
有形固定資産の取得による支出	571,239	805,027
無形固定資産の取得による支出	2,716	13,874
投資有価証券の取得による支出	620	1,214,223
投資有価証券の売却による収入	60,683	1,749,449
投資有価証券の償還による収入	-	100,000
その他	32,953	21,129
投資活動によるキャッシュ・フロー	196,792	2,896,308
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	-	1,000,000
短期借入金の返済による支出	-	21,301
長期借入れによる収入	-	1,000,000
長期借入金の返済による支出	473,560	556,880
社債の償還による支出	50,000	4,050,000
自己株式の取得による支出	213,880	-
配当金の支払額	474,777	708,150
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,212,217	3,336,332
現金及び現金同等物に係る換算差額	941	3,018
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	575,089	318,545
現金及び現金同等物の期首残高	1,680,366	4,265,712
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,105,277	4,584,257



【注記事項】

( 継続企業の前提に関する事項 )

該当事項はありません。

( 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理 )

該当事項はありません。

( 会計方針の変更等 )

該当事項はありません。

( 追加情報 )

該当事項はありません。

( 四半期連結損益計算書関係 )

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
給与	487,517千円	484,755千円
減価償却費	254,780 "	239,154 "
賞与引当金繰入額	69,367 "	76,982 "

( 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係 )

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
現金及び預金	4,852,673千円	4,675,057千円
預入期間が 3 か月を超える 定期預金	3,747,396 "	90,800 "
現金及び現金同等物	1,105,277千円	4,584,257千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	517,401	25	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	710,769	35	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	建材関連事業	不動産賃貸 事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,659,726		629,330	7,289,056		7,289,056
セグメント間の内部売上高 又は振替高		648,047	149,184	797,232	797,232	
計	6,659,726	648,047	778,514	8,086,288	797,232	7,289,056
セグメント利益	1,831,596	352,073	75,907	2,259,577	539,512	1,720,064

(注)1.セグメント利益の調整額 539,512千円には、セグメント間取引消去 39,144千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 500,368千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	建材関連事業	不動産賃貸 事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,428,272	5,050	613,384	8,046,707		8,046,707
セグメント間の内部売上高 又は振替高		646,454	246,873	893,328	893,328	
計	7,428,272	651,505	860,258	8,940,036	893,328	8,046,707
セグメント利益	2,293,672	361,769	146,575	2,802,017	942,604	1,859,413

(注)1. セグメント利益の調整額 942,604千円には、セグメント間取引消去 52,001千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 890,603千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	47円55銭	61円48銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	975,901	1,248,520
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	975,901	1,248,520
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,524	20,307

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月21日

株式会社アドヴァン  
取締役会 御中

監査法人A & Aパートナーズ

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 木 間 久 幸 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 町 田 眞 友 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アドヴァンの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アドヴァン及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。